



八月十五夜
山家

夕うつや茶搦ぬを夜は夢

十六夜つとよるふ

いさゝかおの星を隈の松の園

一炊庵



一炊詞宗

仲原誠多

風流の由あり

色を辨りあり

陶之居

葉をのりて

松はうら

一炊庵



陽春
題天橋在

子成

三月

歲在己未

癸卯

世一保

川く

浪静なり

与謝の河

歳旦

題牛生嶋

可梁

元朝

辰の言は

理の言は

業の言は

い

心

柿



歳旦

ふたつたけの山

吟松亭
几掌

元日也先一篇此

観世音

春無

うらたけの山

無神くふふ子の

まじりの

ゆき

几掌娘

初卯のな

ふらふら多きや

十四才

十代ののち

歳旦

まじりの社

我答

元運

産や砂平此

新く歌

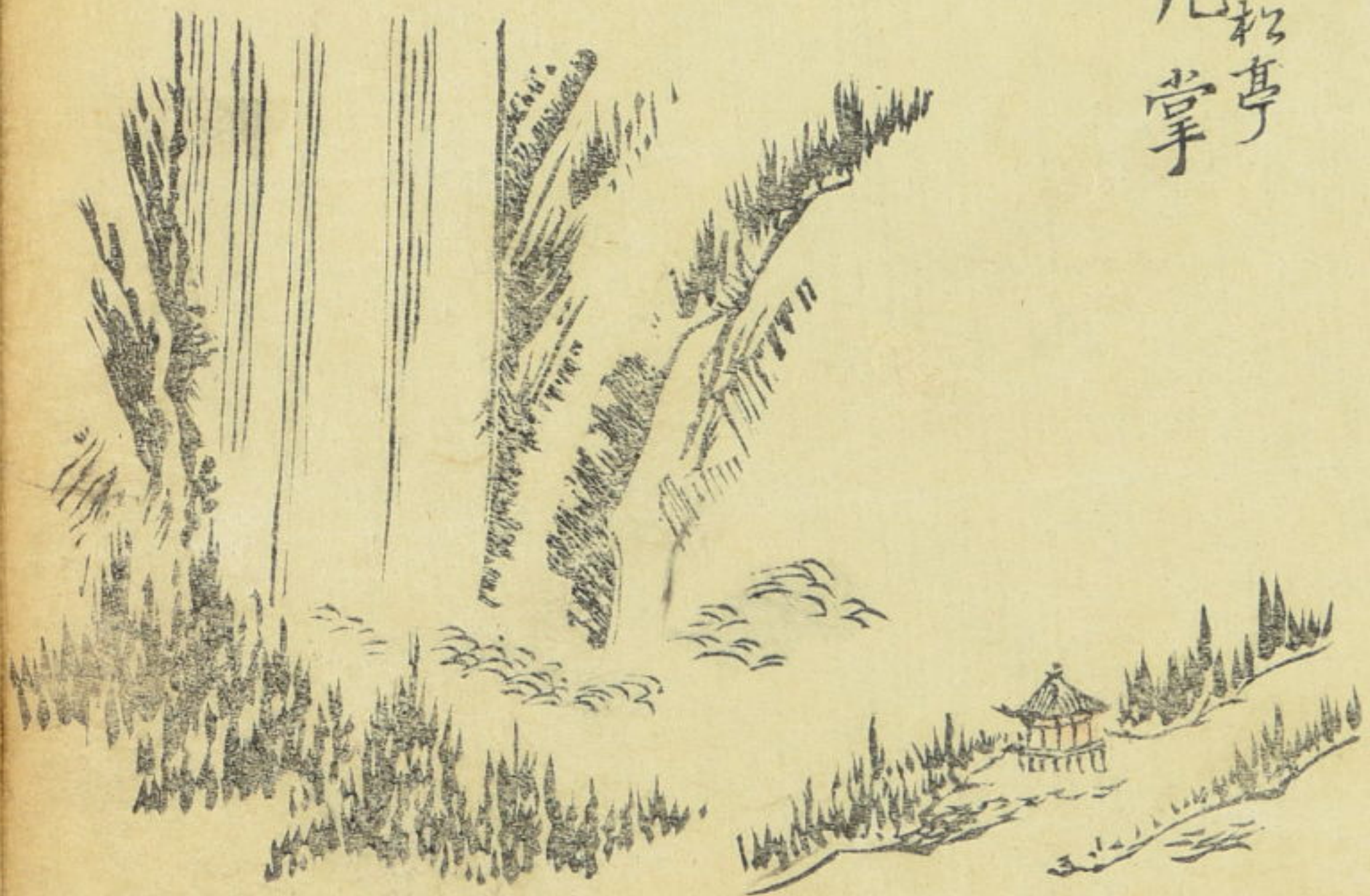
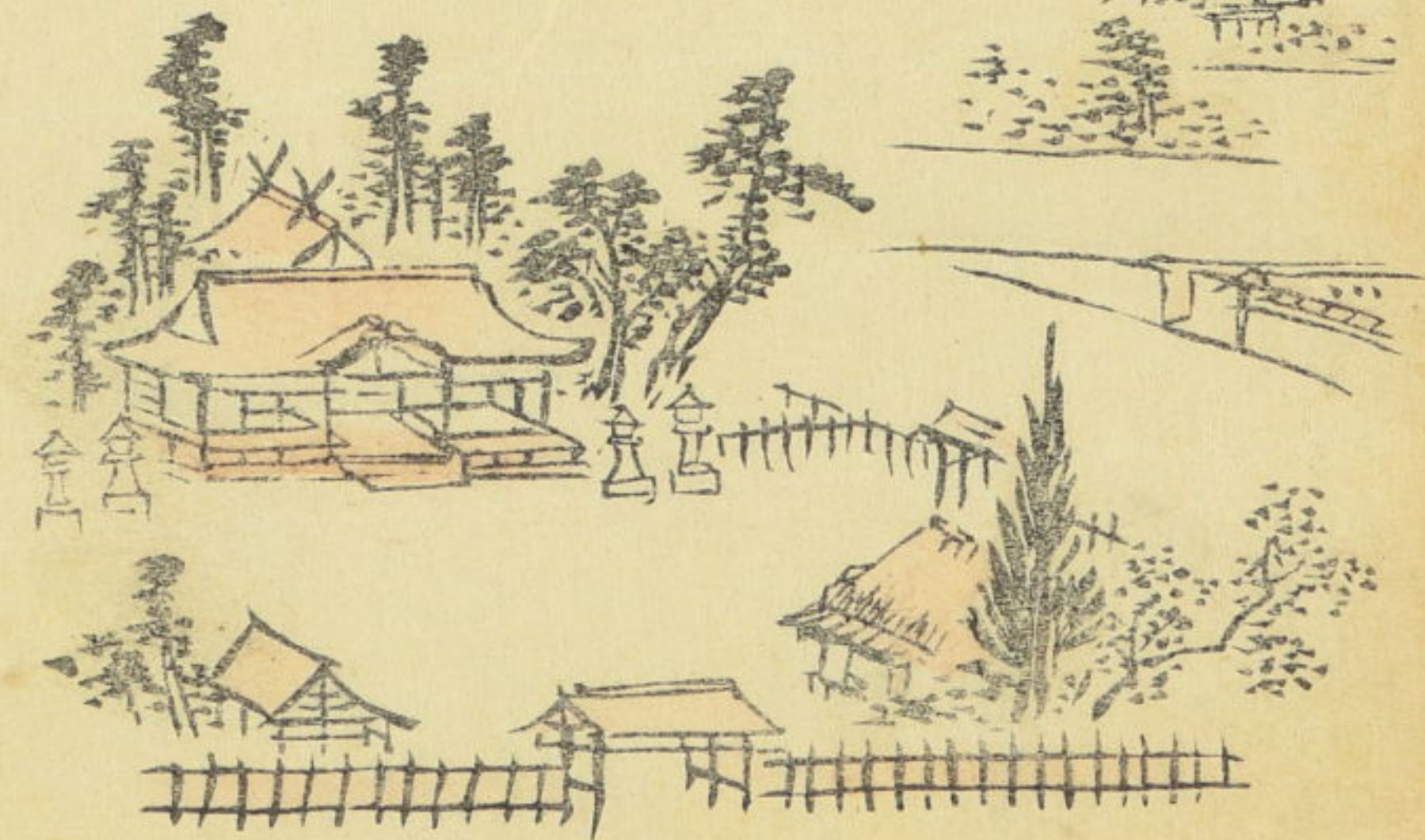
せいふ

起吉備津宮

佛堂鳴る

まじりの

冬平後



歳旦

住吉太神

呂十

新めしきも

歳せは神の

門乃相

早らるる

園心まは

基子拾つち

言ぬ

まき路

只直

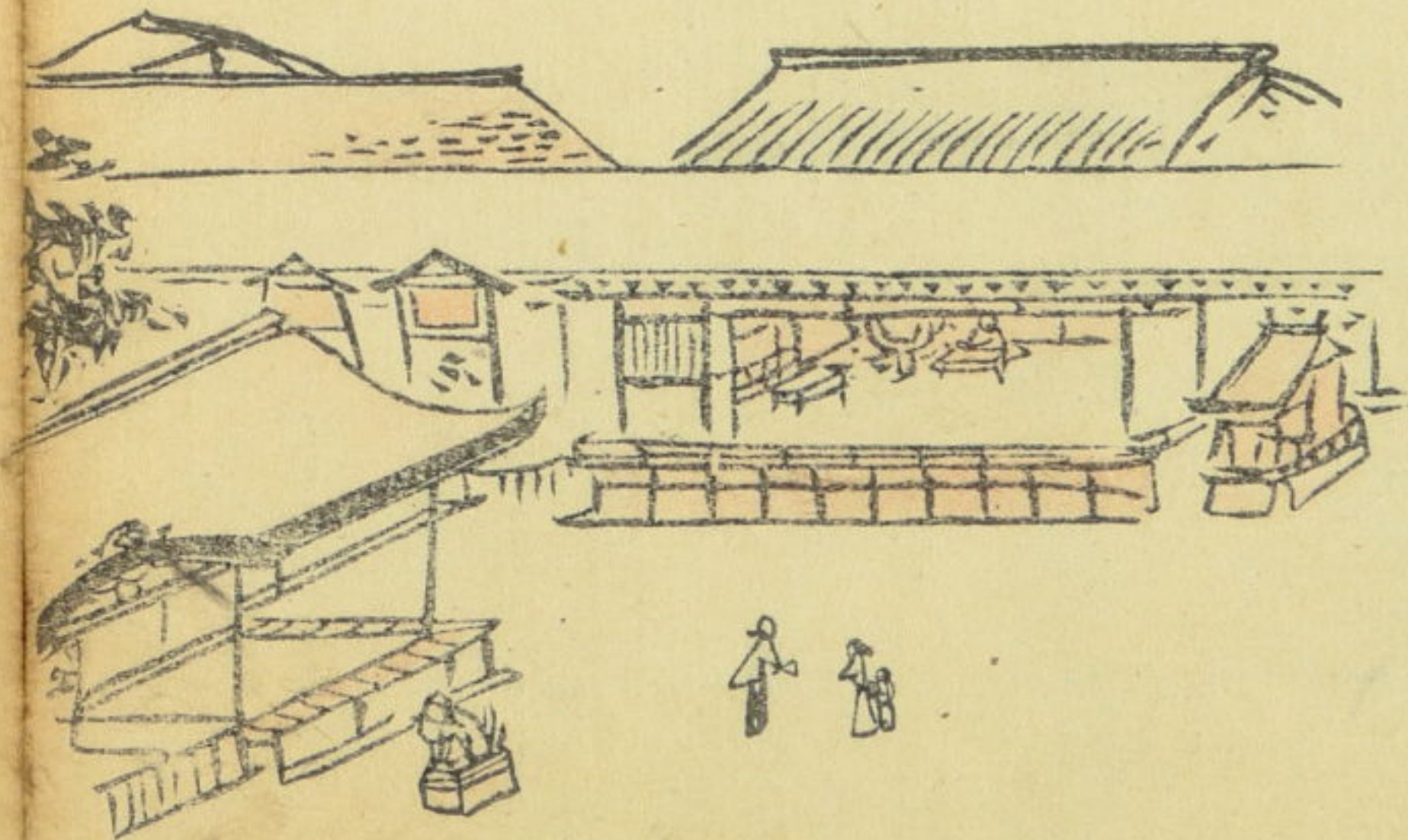
ふきのこ

隠

花乃

乃

明
娘



歳始

起鞍馬山

柳弦

初堂

心古を相さ

湯さくら

せいふ

ま

春むら

見

市



歳旦

荒綾山

愛染堂題

えんじゆ

樹の中

知友

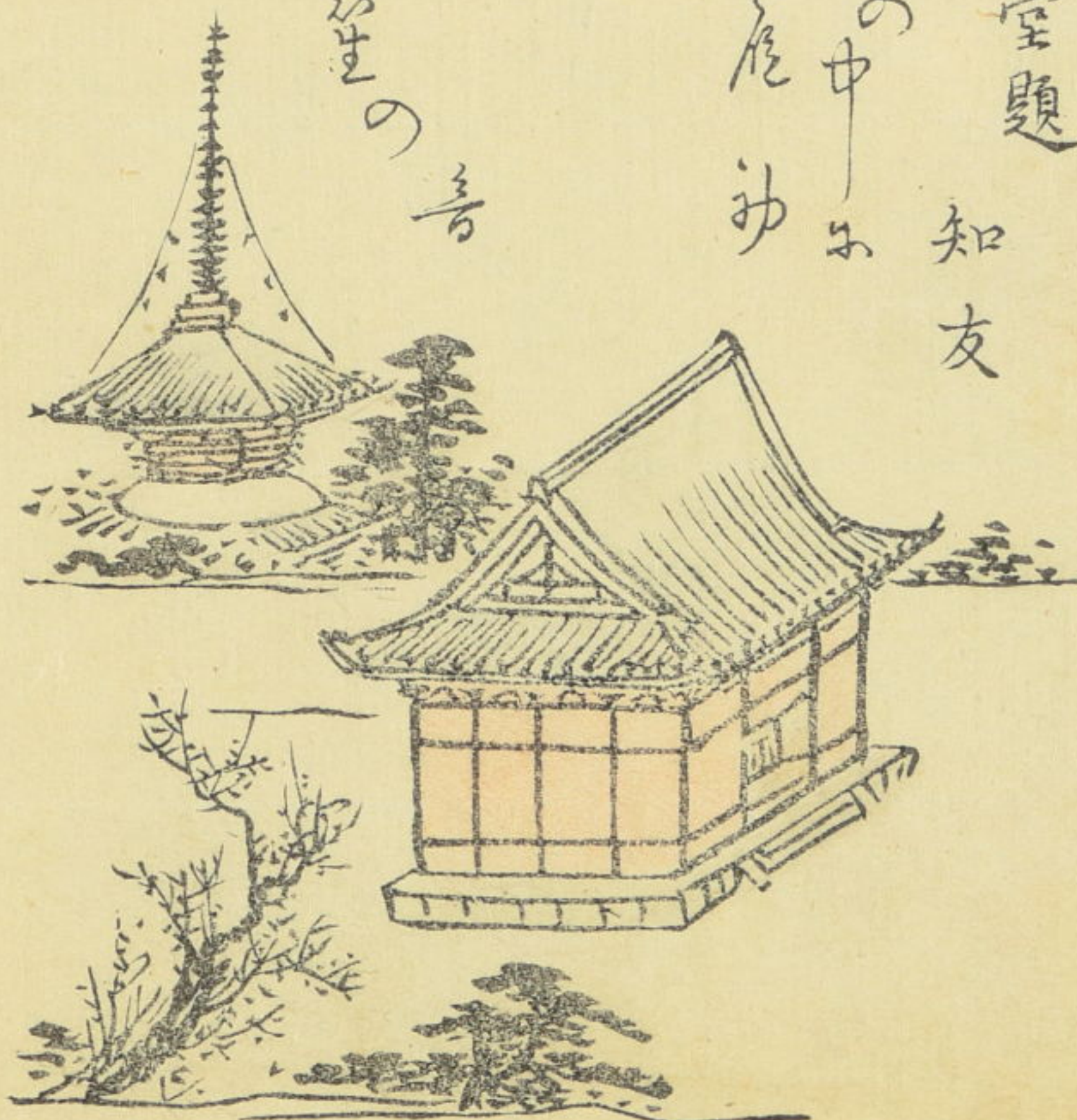
ま

あふ保

音

糸人

町



歳旦

山城東山地主権現

升雄

えびのきり

家の隣

せい保

田村丸すつ

破戸弓矢

さか



早春

喜元亭

題佐太の社

御参り樹

梅

初

御正体



歳旦

魁之宮彦神

文都

三ツツ

中ノ一清

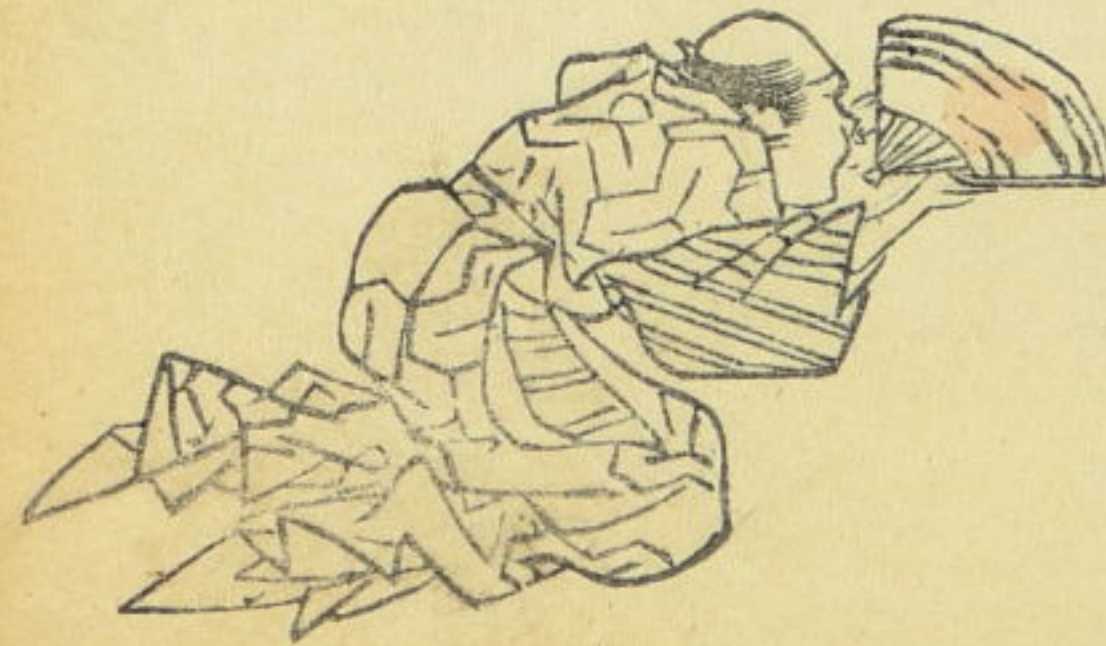
杵神

魁之宮彦神

一天の寅

福来子

福来子



歳旦

魁之宮彦神

佳勇

三ツツ

中ノ一清

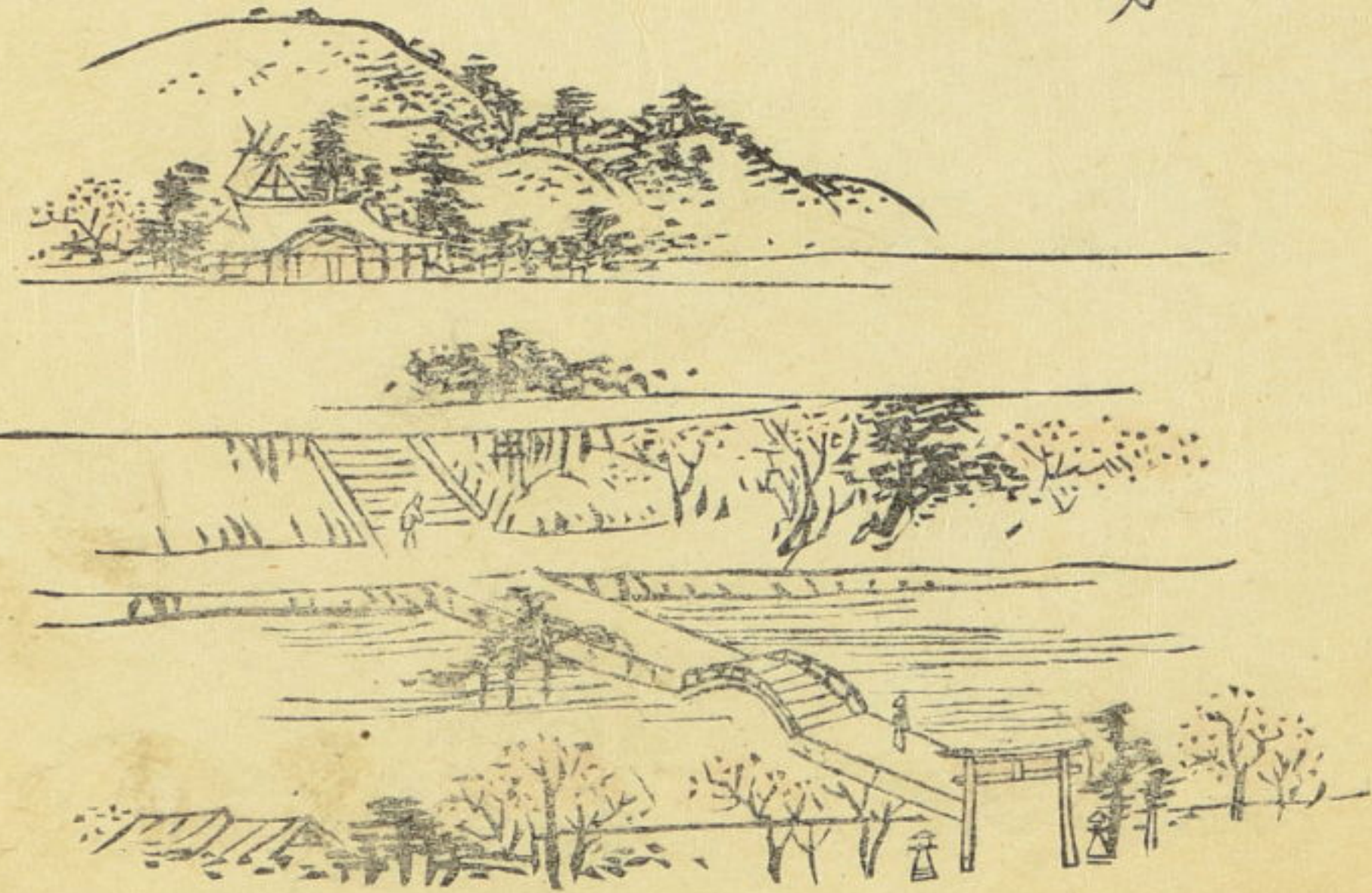
杵神

世に

牛小

福来子

福来子



氷輪

澄意

名月や

薄きいし

きた

田子の

浦

良夜

白梅堂

有我

杉新乃枝ふさふさ月見之夢

三五

名月よ此方の夢雪に極免々々



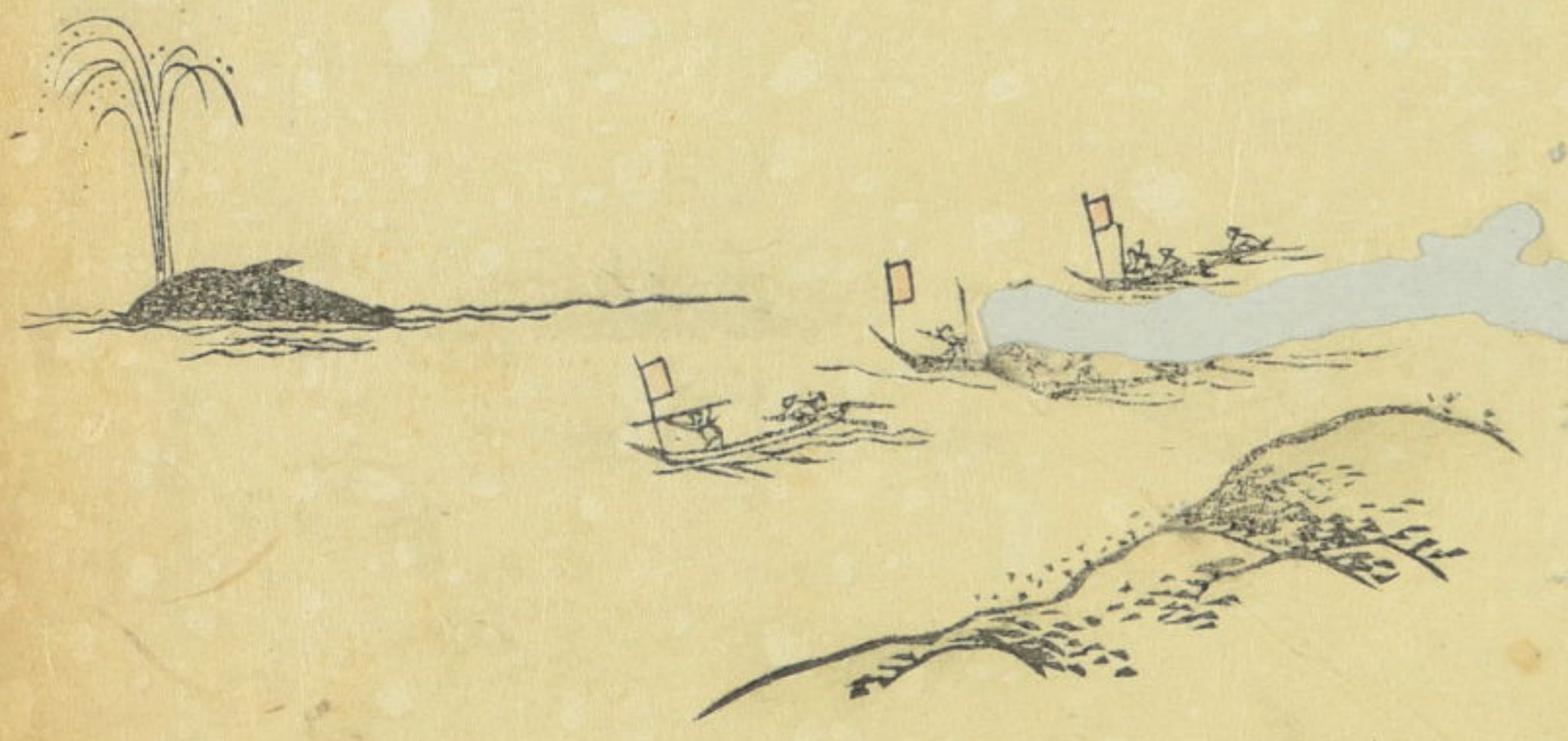
氷鏡

加津船

名月や

入船了也

花守
身



玉鏡

の梁

有仙姑

栗

あまの

の

月



和州
當麻のこま

一時軒
亀龍

身替り

橋の影

維多
声

峨峨
山

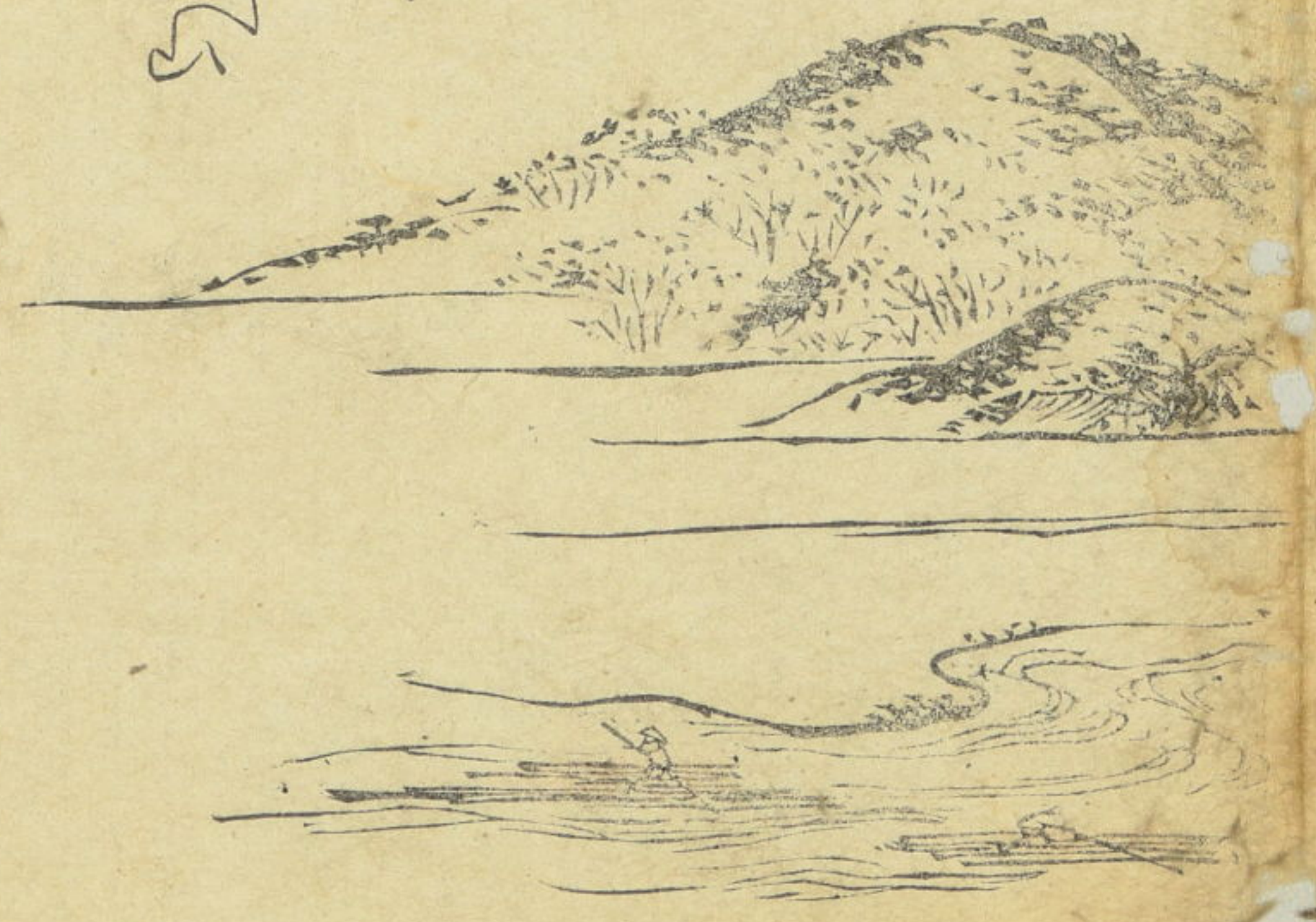
文勢

水竹

山

山

山



望の月豊津の高麗と移り
江並ハナを眺むる夜

園 漏り 湖の 家毎の 月儲け

良おき 柄川とさうの 室お

月佳く 此おとと 琵琶の 湖

常姑 木とてよき 昇り
清艶いと 多やうく

更なる 月骨ふ 入す 月化山



良夜

道樂舎

其風

松島乃月えお

水ん 酒五升

西海堂

月江

月やとて 月月如

名所とて 見え
~~~~~

文



龍鼻山

芝雄



名月

只うの

時

舟

圓

一時軒

龍



難は橋の流よ好も

舟の舟

舟

流

月





金波

文都

山

山

名月

戸さぬ

清代の

あ

う

明蟻

佳石

名月

夏の

よ

初

久





良夜

文勢

名月や

曇る濁る

海の面



金波

真風

夕月

定住す

の

清る  
しる

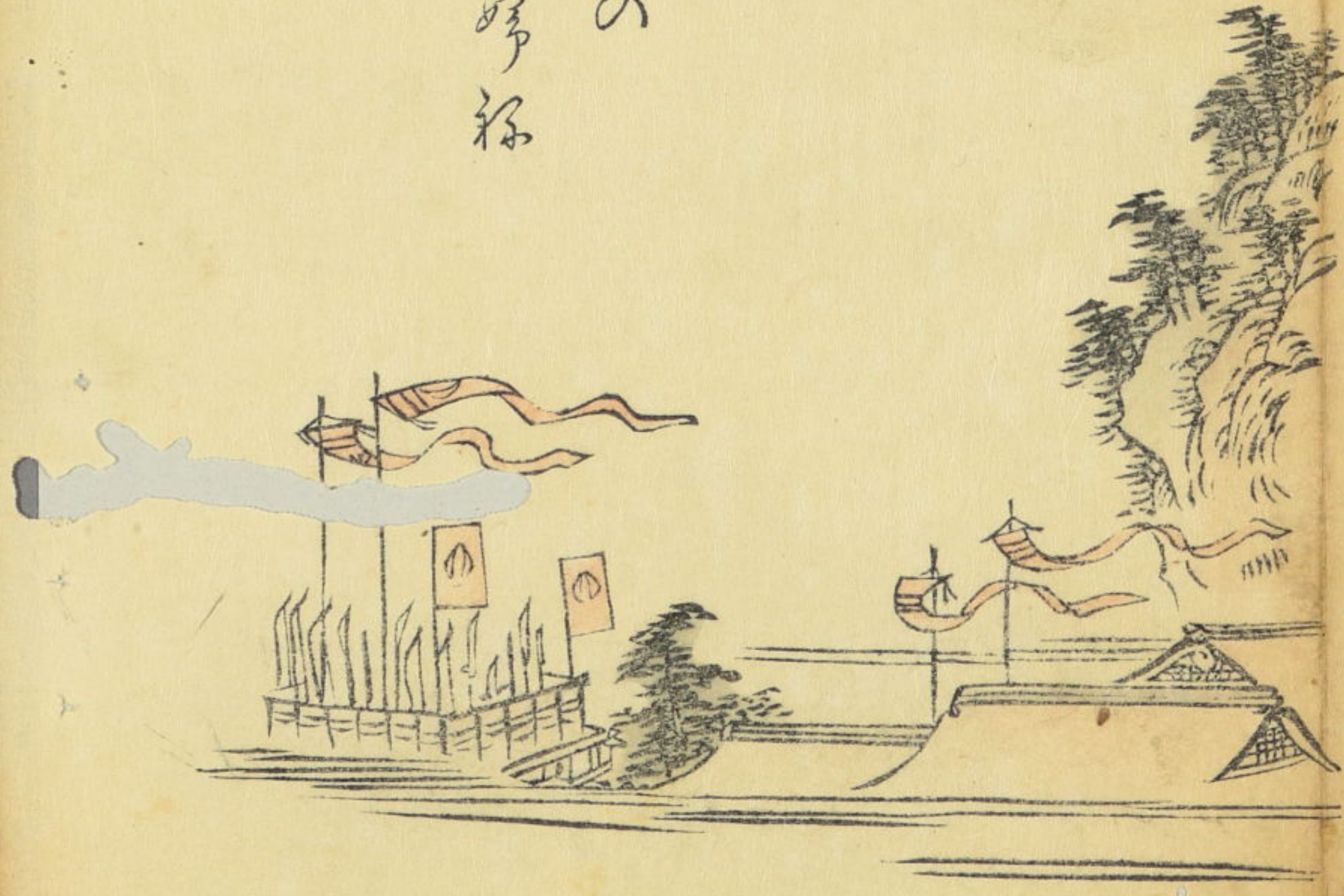




内

帆下  
いそ  
月見の  
只直

金環



名  
扇  
画  
松  
玉盤  
柳  
弦

松美





中樓のぼん

南の空と

えんく

小亭の酔をきく

巴流

なるたけ

かまゆめ

のおは

月見山

良夜

薰十

名月守

盃

うき

和田

奇





清光  
斜さぐり

山の井と

月子

狂さぐり

汲さぐり  
あ

お  
紀州美山  
近日庵



良お

短冊の

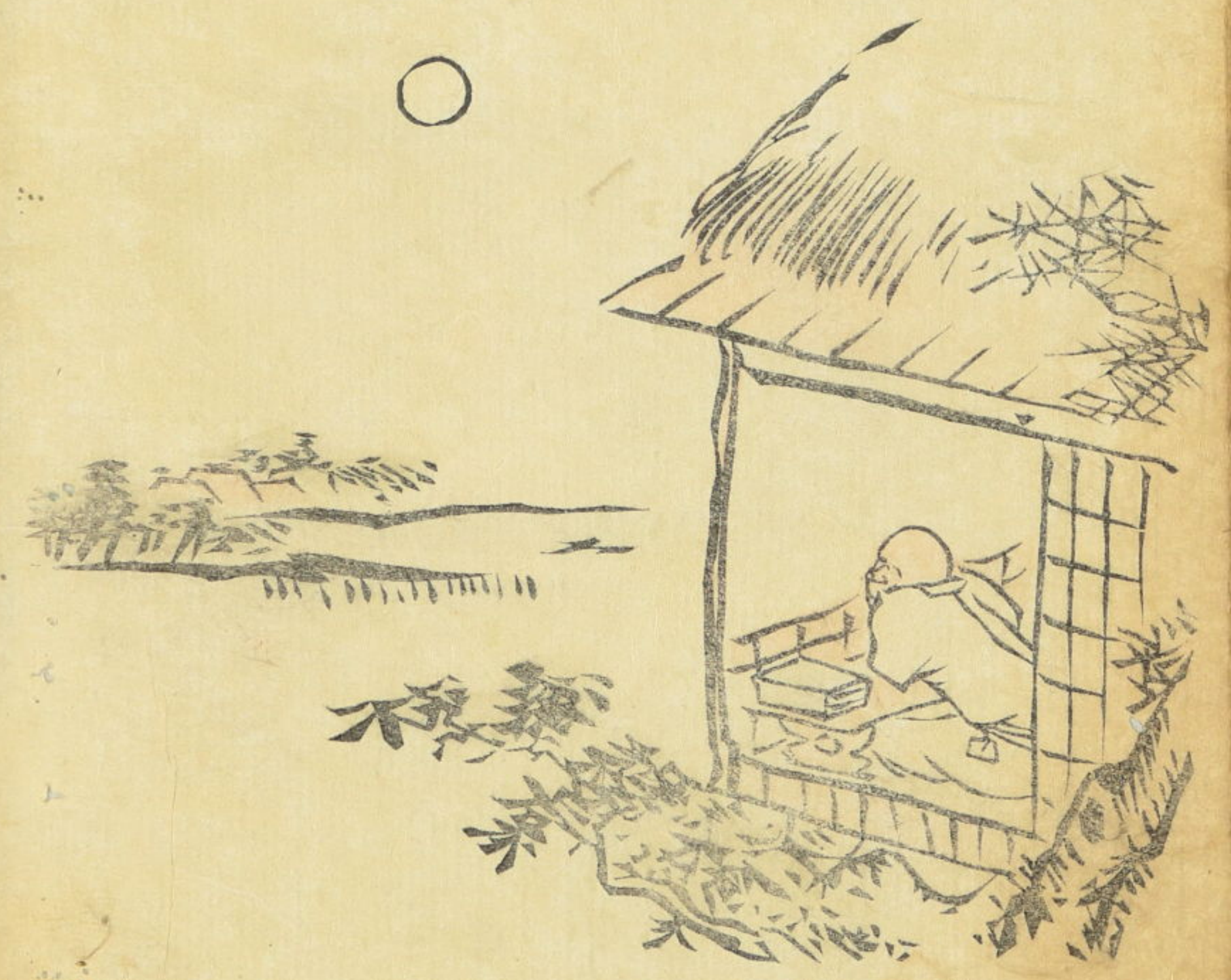
電げり

あ

さぐりの

月

お  
和州竜内  
里水





良夜

雪州廣瀬宮社

壺雲籠

吸風

名月や谷戸の三方に

流るる川に

成風亭

月と名月たこ船うら

まよーきさ

目前の竹とよ歌を探て

万里亭

孤舟

竹の月

竹の月を今人小れ

玉蟾

雪州廣瀬宮社

壺銅庵

連庫

家くま

月の千とせとえりおふ

臨光舎

桃睡

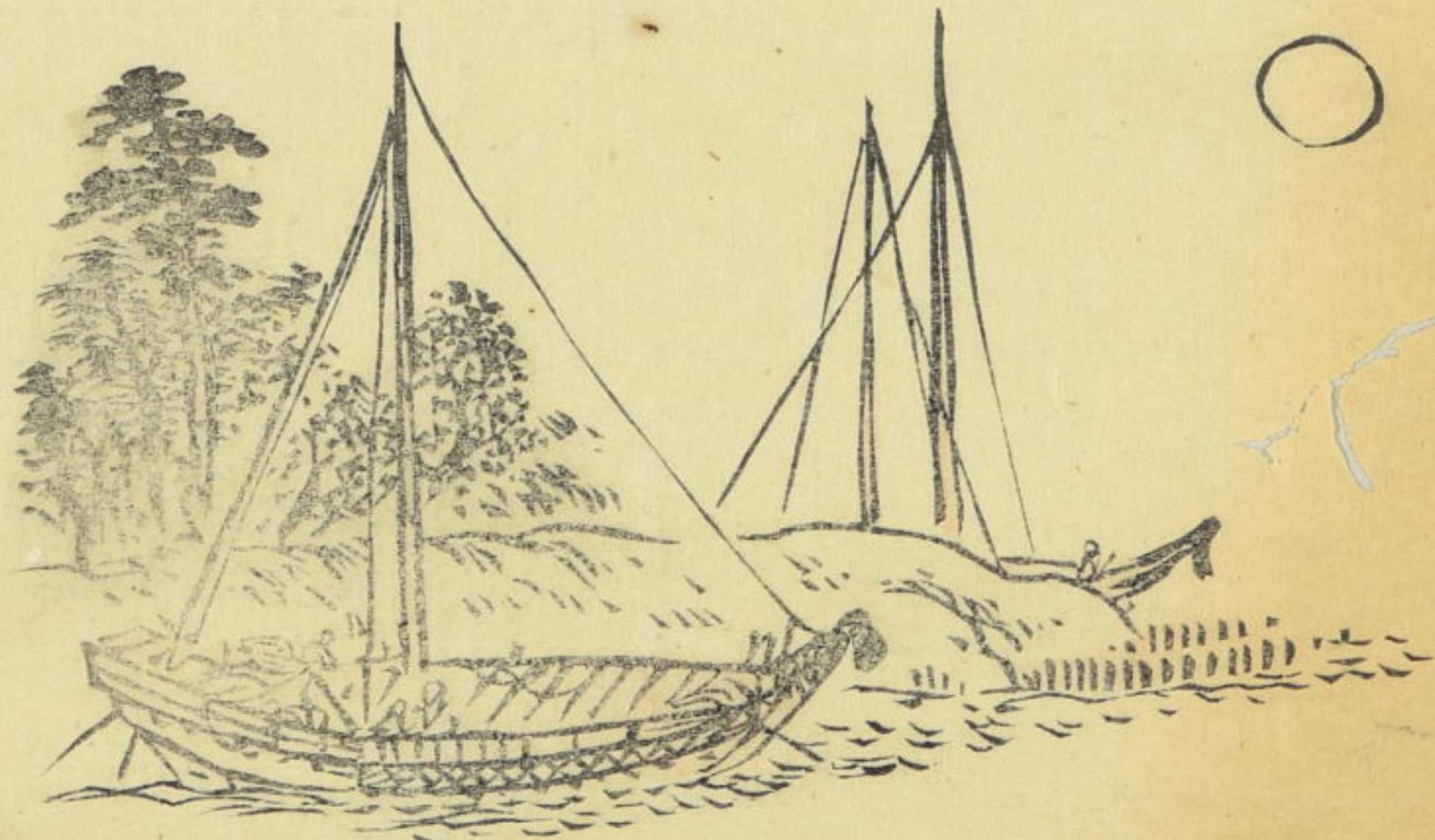
名月守

火こ新くき涼亭

執中庵

名月おおを

お空れり





良夜

閑寛齋  
朝三



夕月

千の月と

おと

鶴の岡



十月十六日

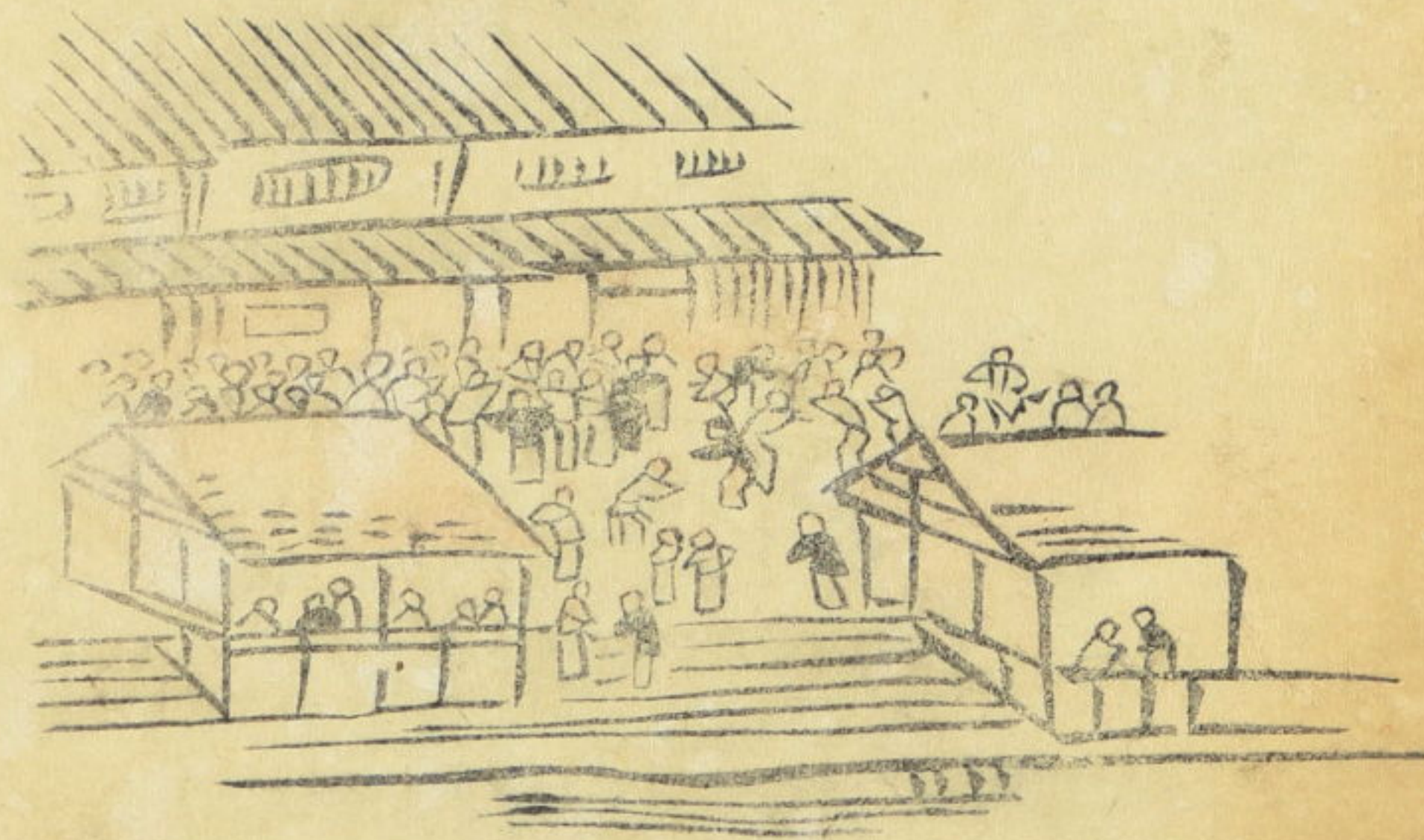
交通

洛  
文暢

ふくきりや

積くありき

二之百





皓月

子成

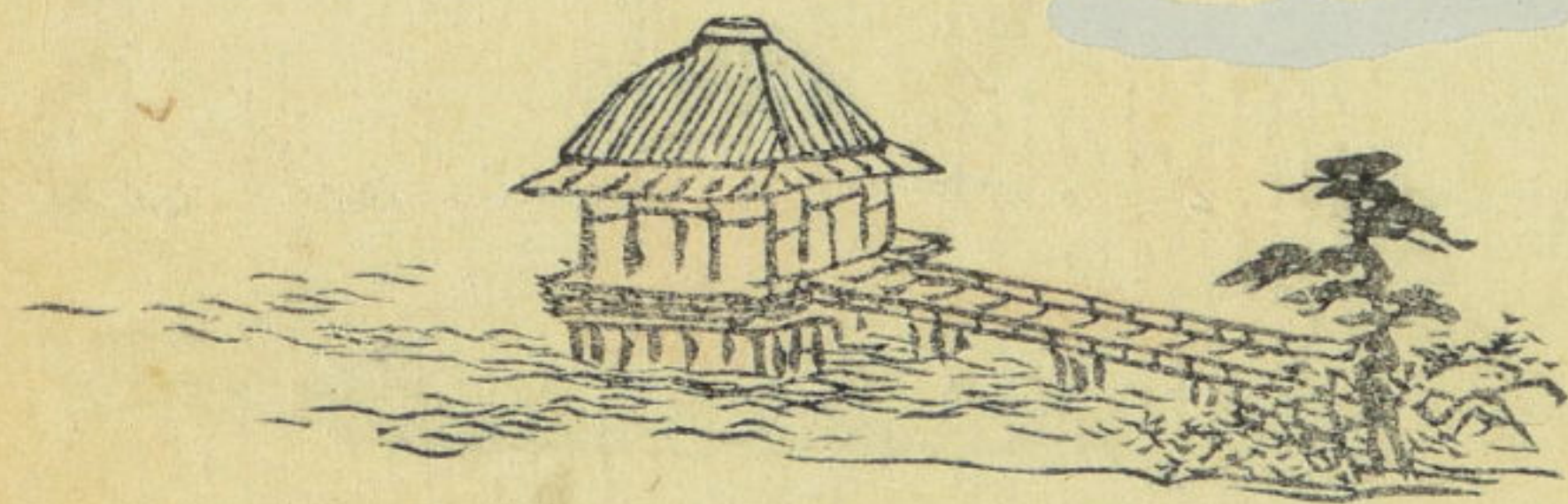
名月や

さしは

よきる

多清

—



良夜

亀壽

ふたは

更り

まのよ

杉乃寿





秋興

三州吉田

兔堂

稲妻守

喧嘩の傍

を

お月

り



良夜

阿州梅若三石

龜孫

さよの月

豊の明色此

一ツまゝ

、電友

大滝の松陣此と月とを

電涛

名月やうきみの中へ

五十鈴川





香湯

崔雅亭

よし浦

紙中紙紙

柔ふふふ

離乃

のち

さの



玉蟾

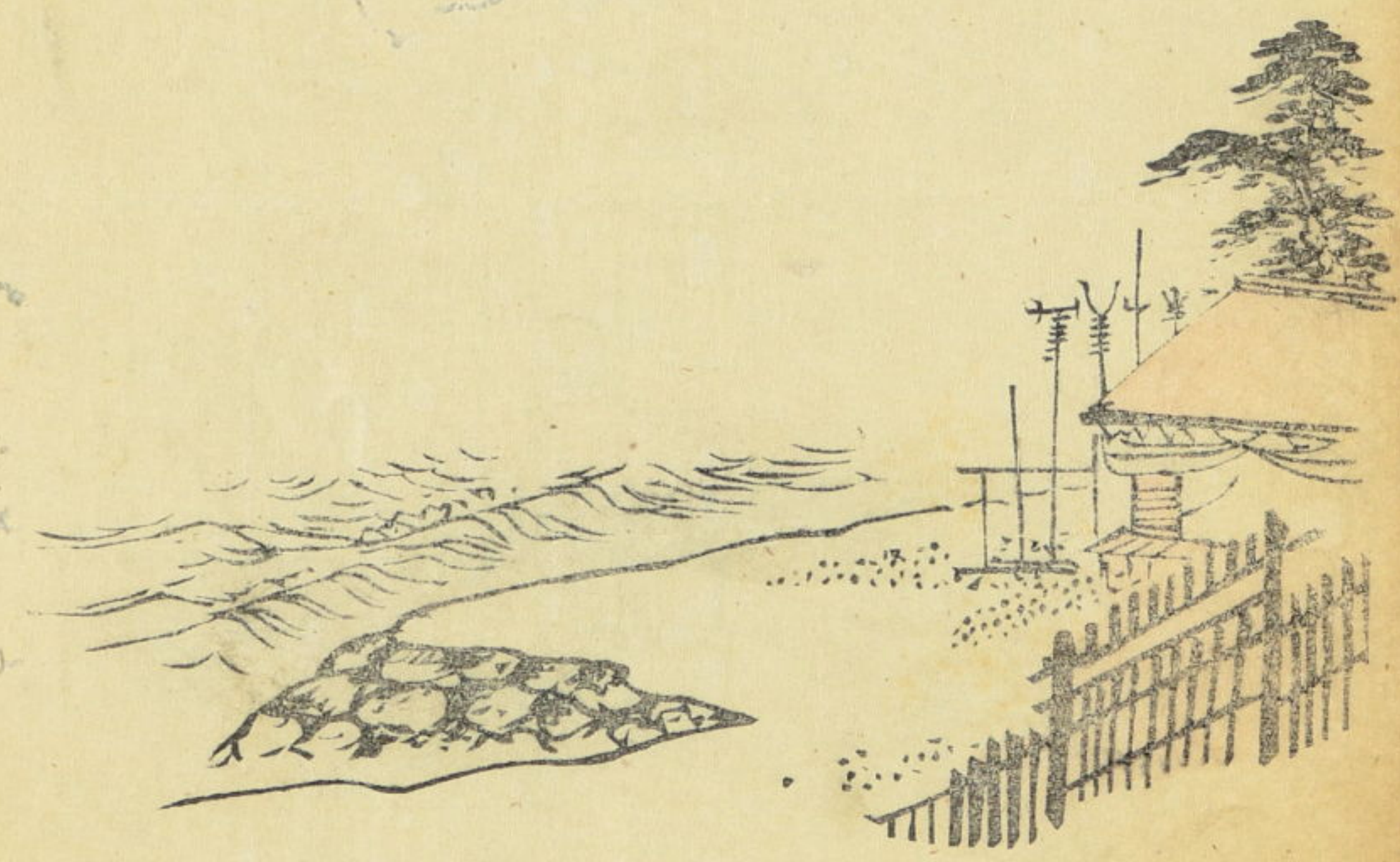
南橋

夕々々

松の毛丸

ほく

角の丸





秋の吟

和合

稲妻の

果を

雨くも

かきくお

うき

名月

石州濱田  
鳥夕

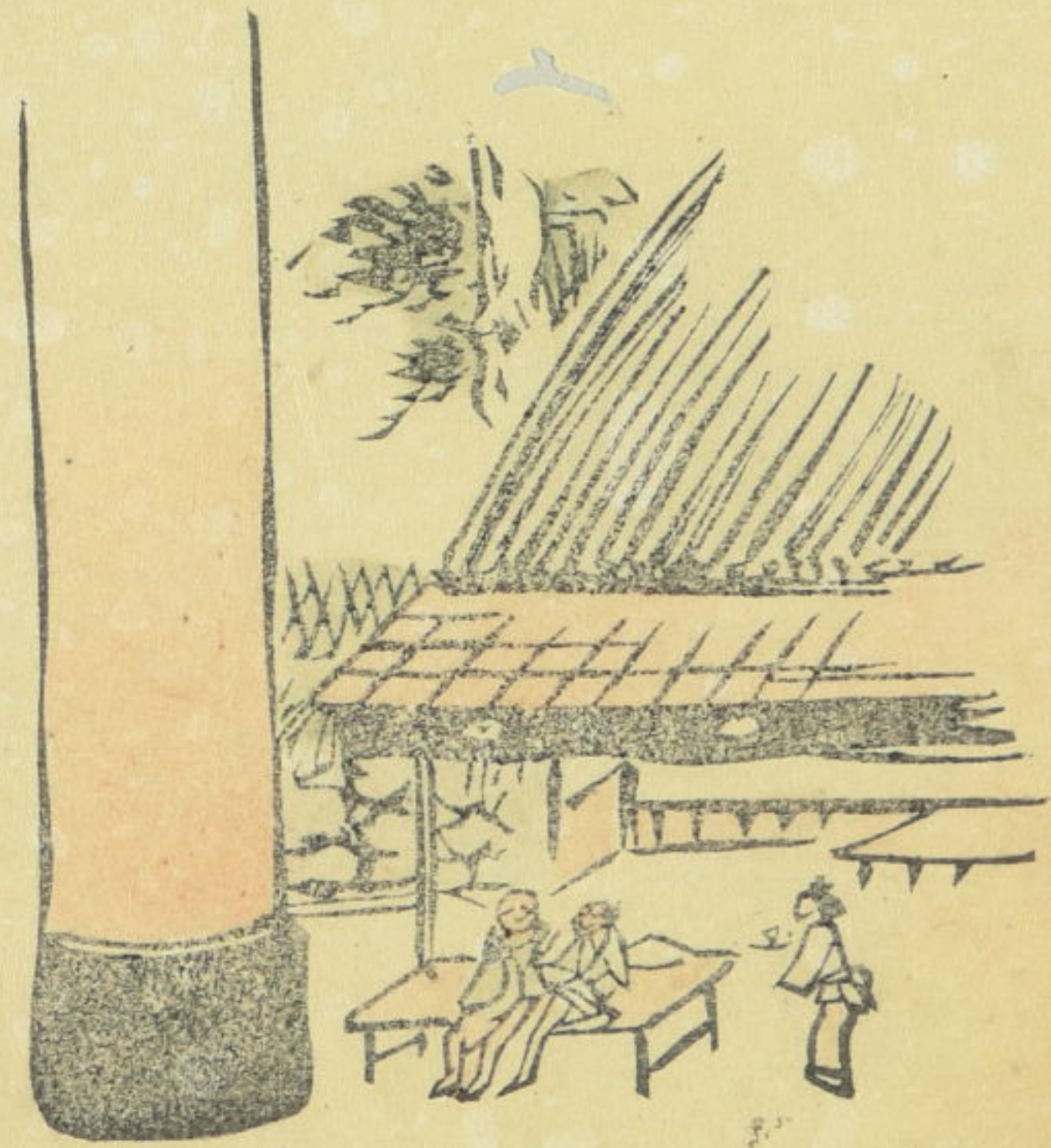
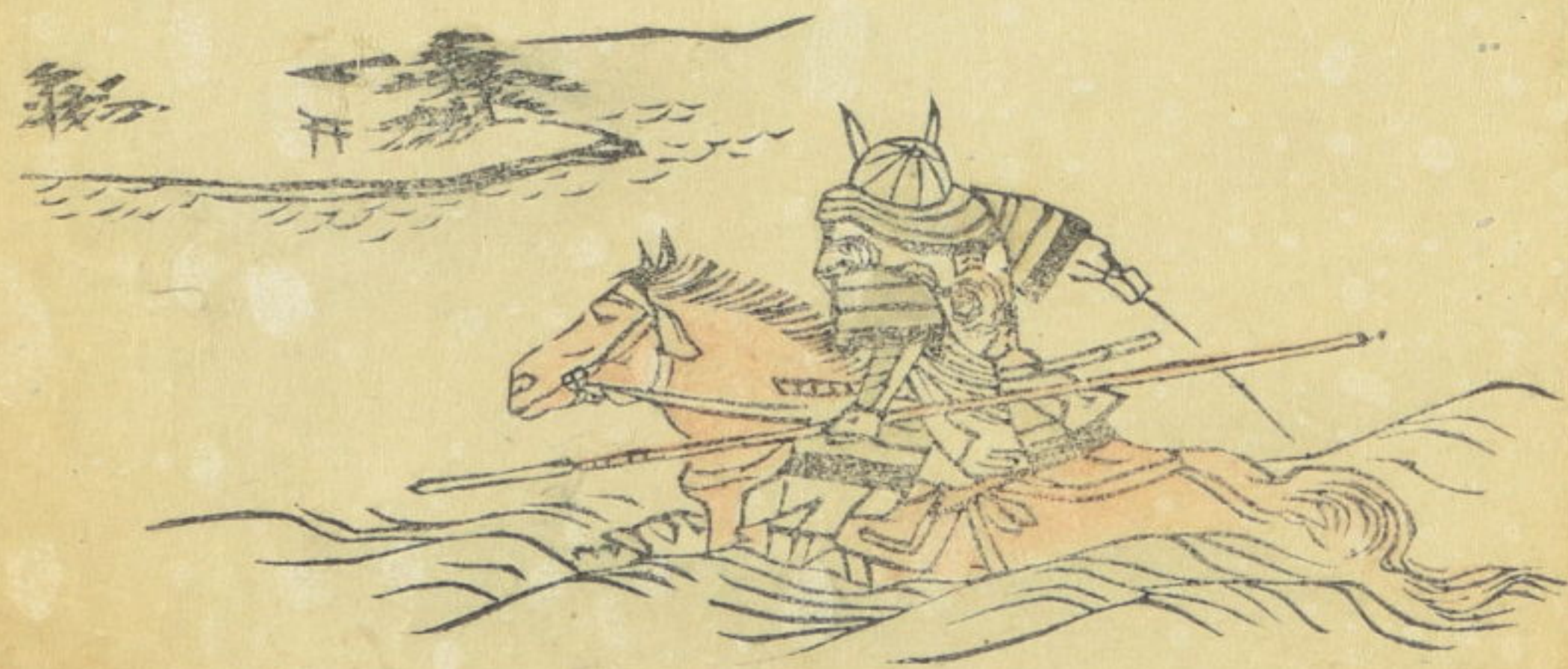
名月  
明るを舟の丸折

名月  
橋くすむ人を誰と

好鳥

鳥塚より立名を  
理免不すり哉

行ありと牛  
あひませり  
古月  
叢の山





暮秋箕尾山  
かしらり

可夕  
炭木

夕破人

輝る屋

枝

夕  
紅葉



同

炭木  
樂只

酒

顔

酒

酒





文通

新月やとく月をまきくふ毎のま

系升は音とれし菊の香ゆけ

風の子し月影きおちやうき

る

揚州童野林亭

雨隣

良夜

茂木

瓦齋

富丸

夕々々

星の散る四ツ五ツ六ツ

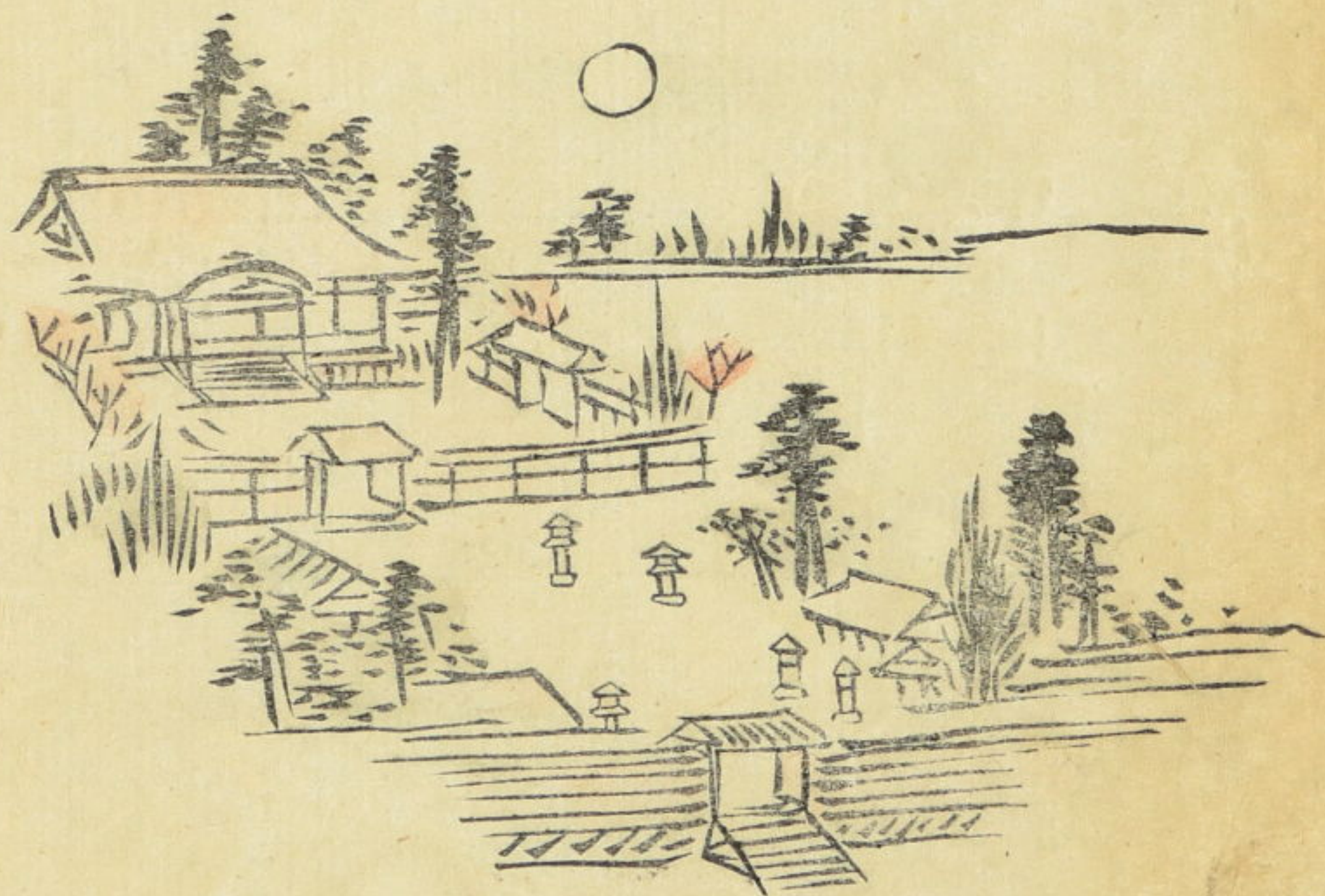
奈良鳴下郡

有芳軒

一丸

名月や

豆ころく人のふつとる





良相

龜水

清光の

月はまろく白

こぼれ星

杉蔭や

見下し

碑

月と

水

良相

善風

夕々白

追風

の

夕々

夕々





春二

見糸所

とろろくま

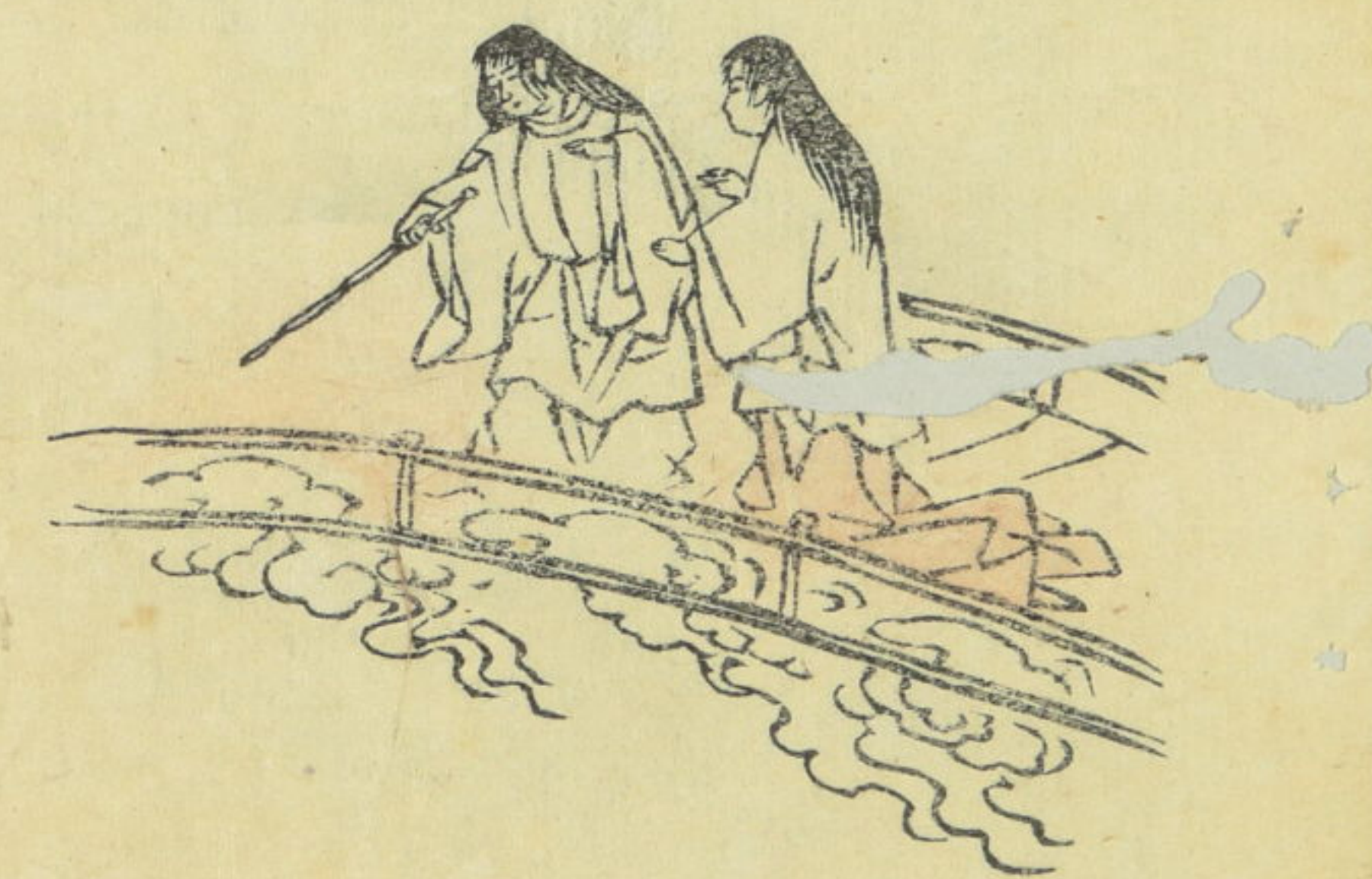
夕月

如陸

名々

梢月探

鳥とあは



香魁

水几

月こよみ

見糸

欲

と

更

なり



玉境

南郊

名月堂

竹子亭

歩き

宇治

免之少

良夜

夢浦

名々々

清い子此

心々々

あハ

島





良由

いづれもあやう  
うれハ志け  
障子と

まき

障子とあやう

又障子とあやう

月六とあやう

自抄



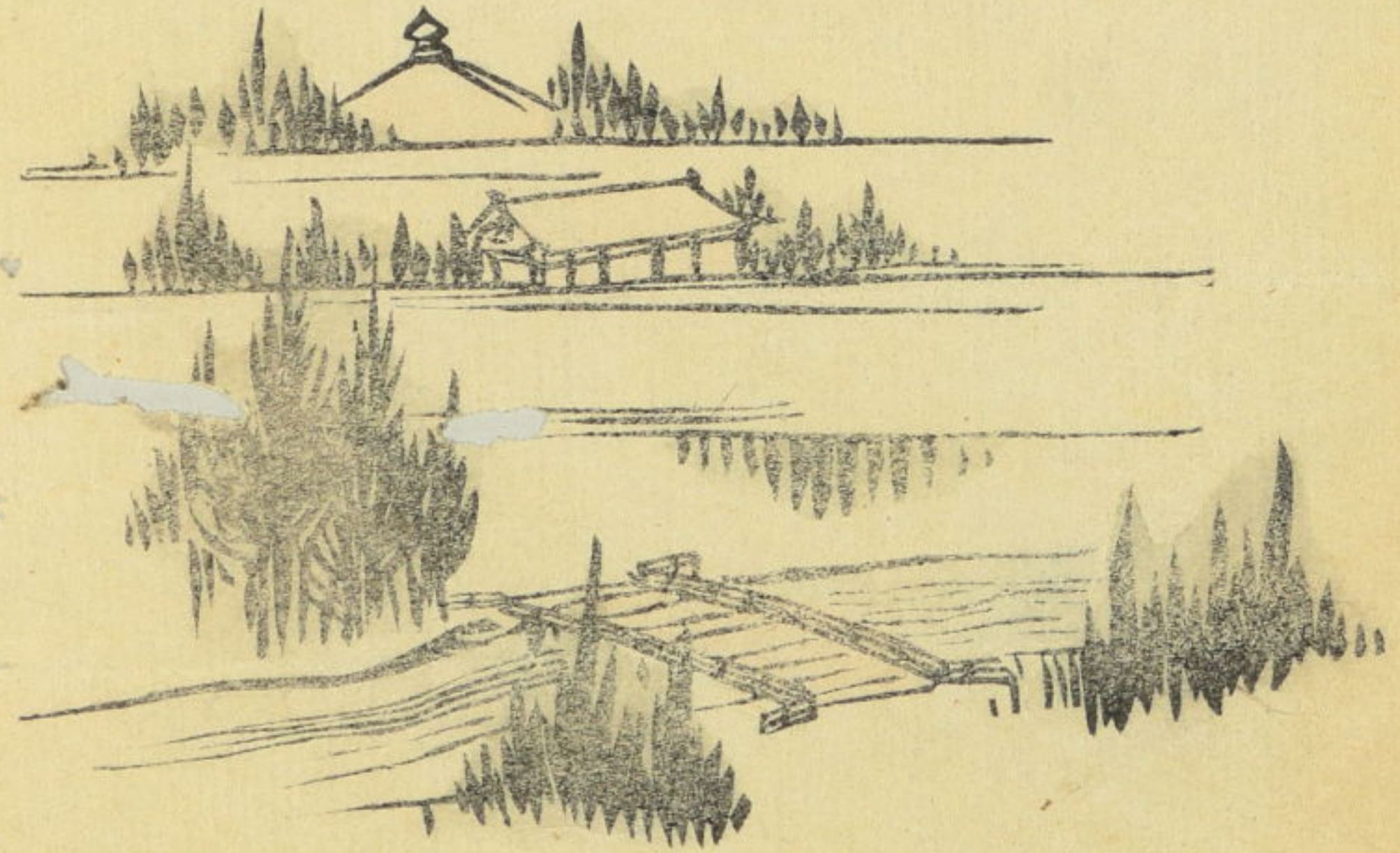
秋吟

江左

黄とあやう

あやうとあやう

今同心









銀盤

呂十

市中此様

心

斯久是也

月乃

月乃

鉛世男



合壁

陶と名

方水

差味又持り

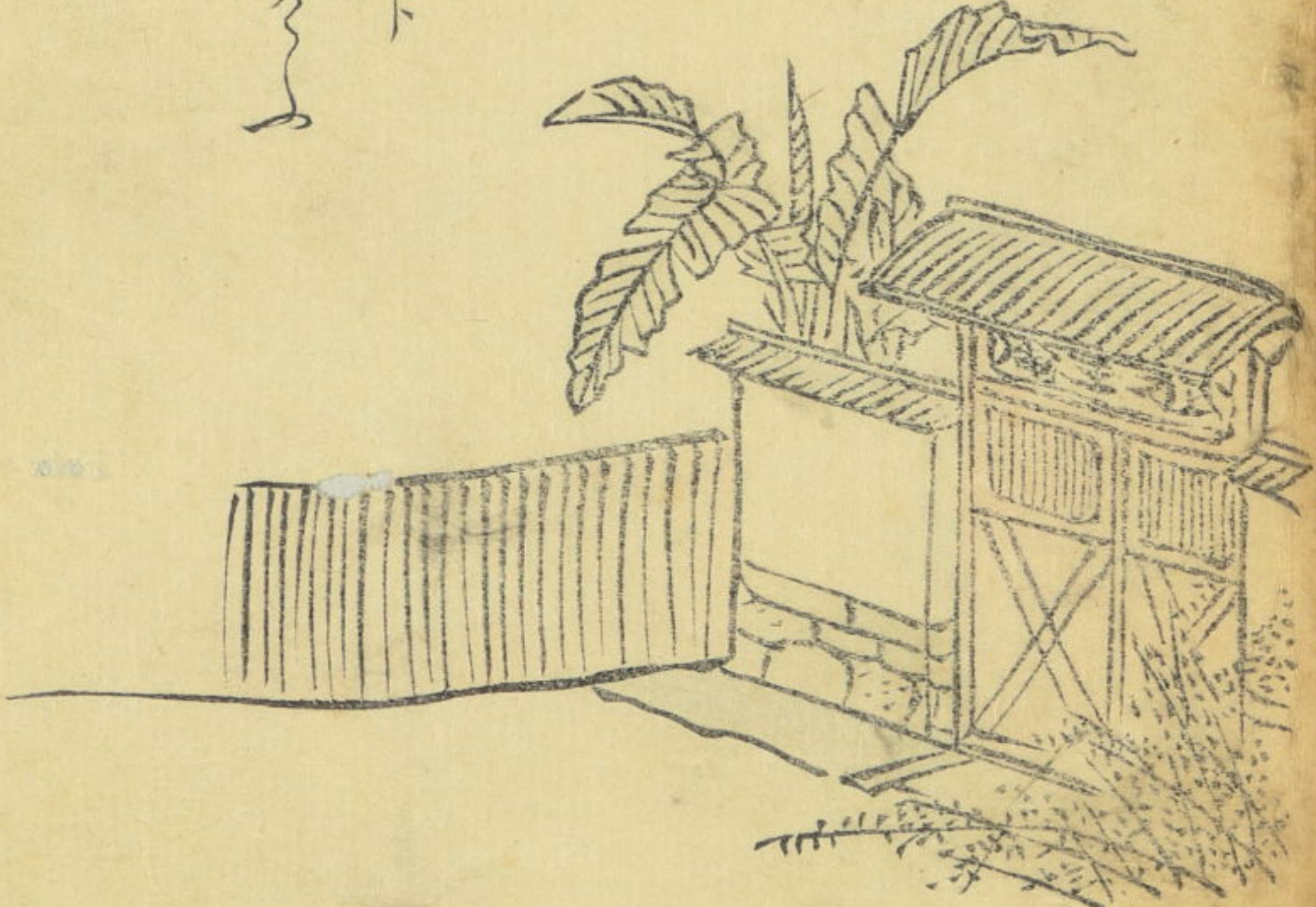
落柿の

まの

柿の

魂まの

月の





圓蟾

伯春

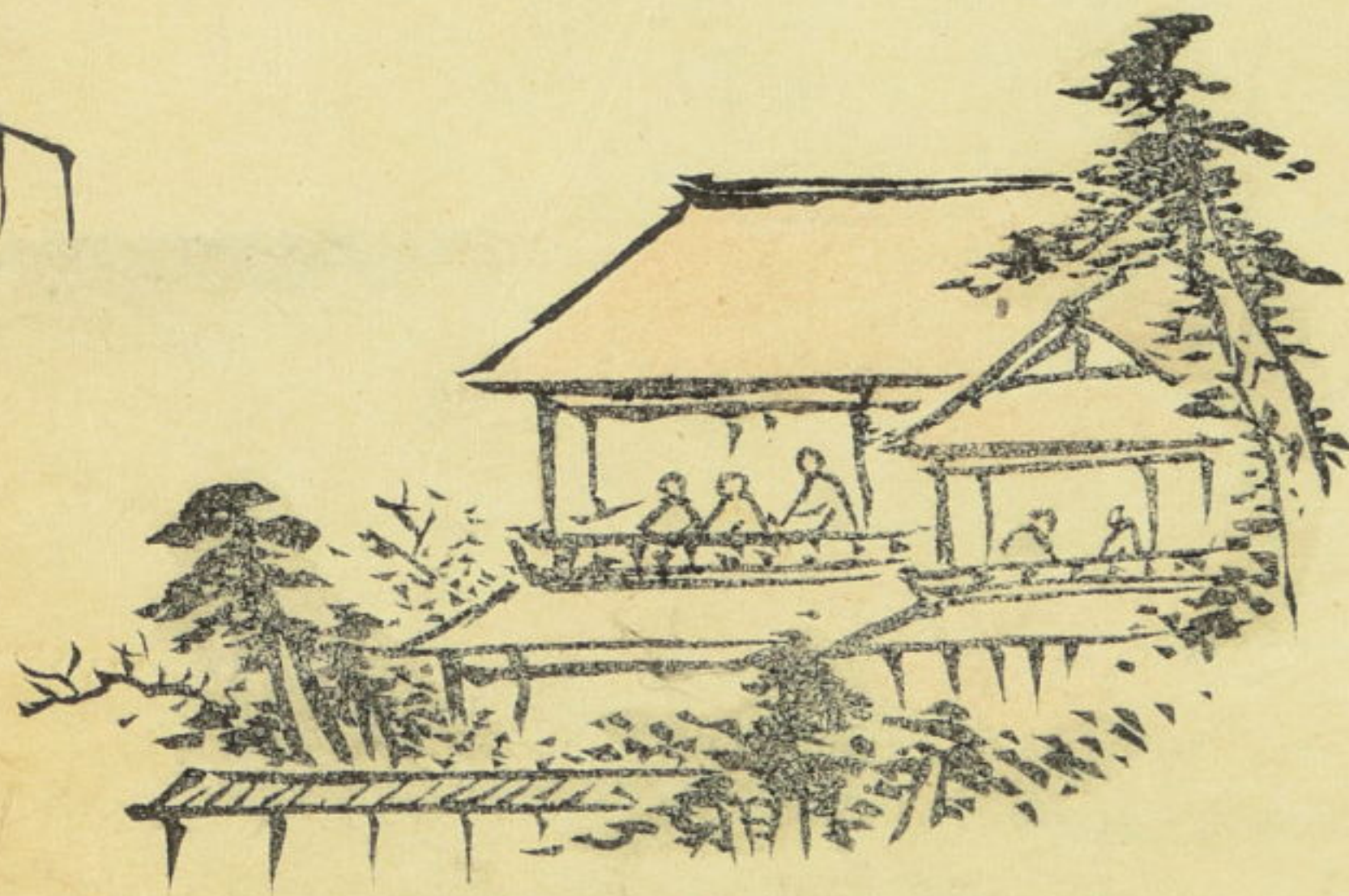
名月守

動けハ

見ゆ

言此如

三三



良夜

蓀子

名月守

紀伊小

あはれ

高の

中





歳旦

魁と加賀

大寺

和合

初りさん

新も暮るの二宮あり

世ふ

たはのき

流れり

岩

まき

題はくらのみや

鳴るるーつゆさるーのな



歳旦

さゆや 目もよまきす 阿津風

あはは

よめあは

牛のちとや 年の布

春奥

唐根草の舞ねま 卯

はぶの雨

石州瀨田 雪傷齋 古月



春の鳥

山の 煙の 亀洞

ま〜むき

ふき

経子の色

寺塔の花

好り

〜

〜

いよあさん

起いつ〜時

歳旦

空の庵

平〜由

廻廊よ

〜

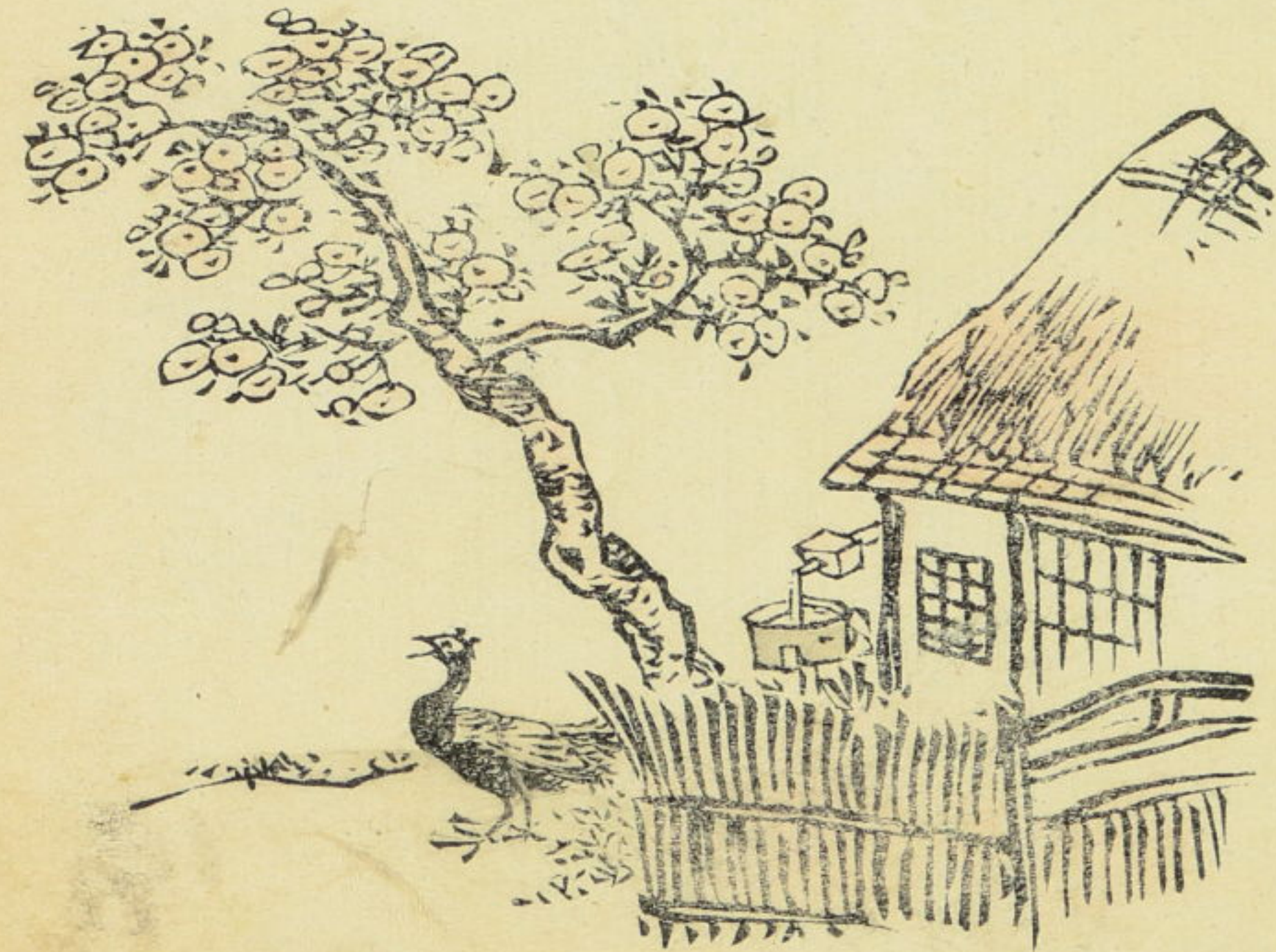
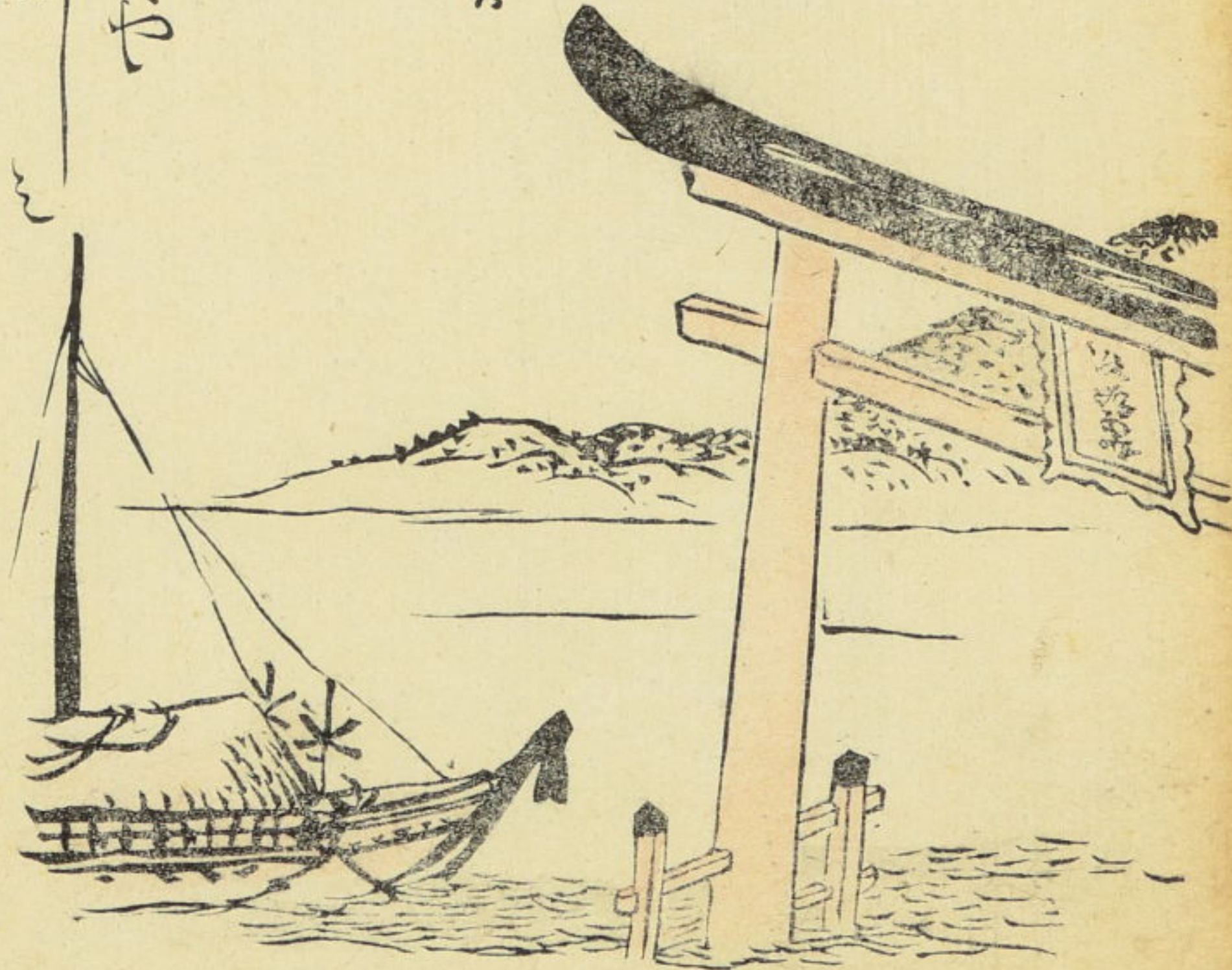
〜

せんか

おまのりき

〜

〜





栗嶋の社  
むし  
歳旦

晴の加田海苔

河洲  
旭

ほろの  
先

月此園の人よ

知外

除  
清



孟春

題  
山

伯春

中  
の  
ん  
か

河  
の  
う  
り

勢  
以  
保

和  
ら  
う  
り

本  
晴  
の  
茶  
壺

水  
の  
う  
り

